



岩国市のバイパス整備について

岩国市には主要な幹線道路として国道2号・188号がありますが、広島県大竹市小方から長野までの区間には「主要渋滞箇所」が15カ所あり、追突などの交通事故も多発しています。こうしたことから、国土交通省では、大竹市小方から山手町までの区間において、国道2号のバイパス「岩国・大竹道路」（延長約10km）を整備しています。

また国道188号のバイパスである「岩国南バイパス」（延長約5km）は、平成20年までに山手町から藤生町までの全区間が暫定2車線で開通しました。さらに今年度からは、藤生町から長野付近まで延伸する、藤生長野バイパス（延長7.6km）いわゆる岩国南バイパスの南伸が新規事業化されました。こうした幹線道路の整備は、交通混雑の緩和や交通安全の確保はもちろんのこと、都市間ネットワークの構築による広島広域都市圏内の連携・交流や、ダブルネットワークの確保による災害に強い道づくりとして大変重要です。

また移動時間の短縮などによる観光・ビジネスなどの潜在的な地域力の底上げや、岩国錦帯橋空港や重要港湾・岩国港などの輸送施設、三次救急医療機関である岩国医療センターやいわく消防防災センターなどからなる医療・防災・交流拠点や愛宕スポーツコンプレックスなどが集積する愛宕地区、市が岩国医療センター跡地において、福祉・交流拠点のまちづくりを目指す黒磯地区へのアクセス性の向上など、さまざまな効果が期待されており、地方創生、国土強靱化に欠くことができないものです。

「岩国・大竹道路」

岩国・大竹道路は、区間のほとんどがトンネルと橋で構成され、大竹市御園地区で山陽自動車道に接続し、山手町では岩国南バイパスに接続する計画となっています。

平成13年度に事業着手され、26年度からは室の木町で、27年度からは和木町で、28年度からは大竹市で工事が始まっており、今年度は昨年度末に開始した（仮称）山手トンネルに関する地質調

国道2号と国道188号のバイパス整備について



- 【主要渋滞箇所】 最新交通データや地域住民の声などを基に特定した地域全体として渋滞を実感している箇所
- 【主要渋滞区間】 交差点が連なるなど、速度低下する箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

査などの各種調査に加え、室の木町などで改良工事が予定されています。

「藤生長野バイパス」(岩国南バイパスの南伸)

藤生町から南の地域では、中心市街地や柳井市方面に向かう主要な路線が国道188号だけという道路事情のため、朝夕の通勤時間帯の渋滞による経済的損失や、災害時のダブルネットワークの必要性などから、岩国南バイパスの南伸が長年にわたり望まれてきました。

こうした中、国土交通省において、平成29年度、国道188号の藤生町から長野付近までの約7kmを対象区間として、事業化に向けた取り組みが開始され、昨年度、都市計画決定の手続きを経て藤生長野バイパス(岩国南バイパスの南伸)の新規事業化が決定されました。今年度は調査設計に着手される予定です。

平成30年4月	平成31年2月	平成31年3月
全線バイパス案のルート帯が決定 延長7.6kmのルートを都市計画の素案として国が山口県に提出	都市計画変更案に関する説明会 都市計画審議会	都市計画(山口県決定)の告示 藤生長野バイパスの新規事業化が決定

岩国市の幹線道路のこれから

自動運転化など技術革新目覚ましい昨今、自動車は依然として市民の皆さんの重要な移動手段です。こうした中、広島広域都市圏の西の要衝である岩国市にとって、幹線道路は周辺市町と共榮していくための重要な都市基盤施設であり、スピード感を持って整備を進めていくことが大切です。市では今後も、周辺の自治体や関係機関としっかりと連携しながら、多くの人々の期待を力に、岩国・大竹道路および藤生長野バイパス(岩国南バイパスの南伸)の早期完成に向け、官民一体となって、幹線道路の整備に取り組んでいきます。